エコアクション21

環境経営レポート

2024年度試行運用版

(運用期間:2024年7月~9月)



発行日:2004年10月25日

株式会社 春日緑化

【目次】

組織の概要	P1
実施体制	P2
環境経営方針	Р3
環境経営目標	P4
環境経営計画	P5
環境経営計画に基づき実施した取組内容	P6~P8
環境経営目標の実績	P9
環境経営計画の取組結果とその評価	P10
環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、	P11
並びに違反、訴訟等の有無	
代表者による全体評価と見直し・指示	P12

1. 組織の概要

1) 事業者名 株式会社 春日緑化

代表者氏名 代表取締役 朝見 高樹

2) 所在地 〒870-0807 大分県大分市大字八幡1754番地の1

3) 環境管理責任者 重野 修

連絡先 TEL 097-534-5453 FAX 097-534-5457

E-mail kasugary@chive.ocn.ne.jp

4) 事業内容 大分県知事 (特) 9223号

造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業

大分県 産業廃棄物収集運搬許可

5) 事業の規模 売上高 256百万円

(2023年度) 従業員数 11名

保有車両 9台

(塵芥車2台、ユニック2台、ダンプ2台、軽トラ1台、箱バン2台、普通車1台)

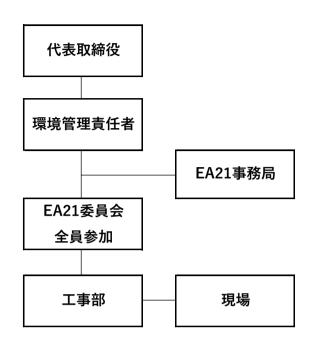
延床面積 90.75㎡

6) 事業年度 8月~翌年7月

7) 対象範囲 全組織、全事業活動

(造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業)

2.実施体制



EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営に必要な経営資源(人、設備、費用)を準備
 代表者	・環境管理責任者の任命
10321	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境経営レポートを確認・承認
	・環境経営方針の策定(更新)
	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境経営目標、環境経営計画書を承認
環境管理責任者	・環境経営の取組結果を代表者に報告
	・環境経営レポートの確認
	・問題点に対する是正処置、再発予防処置を承認し、結果を評価する
	・環境管理責任者の補佐
事務局	・環境負荷の自己チェック及び、環境への取組の自己チェックの実施
争伤问	・環境関連の外部のコミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートを作成
E A 21	・環境経営目標、環境経営計画書を共有
	・効果的な活動を推進するため、連携を図る
推進委員会	・環境活動に関する取組状況や課題を報告、共有
丁重郊	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
工事部	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

3.環境経営方針

基本理念

当社は、「こどもたちにみどり豊かな自然をのこしたい」をテーマに、次世代に残していくことを責務と考え、深刻化する地球温暖化問題に自覚を持ち、本業である 造園を通じて、環境への取組に配慮した活動を務めます。

行動指針

具体的に次の項目に取組み、全従業員継続的改善活動に取組みます

- ・二酸化炭素排出量の削減
- ・産業廃棄物排出量の削減
- ・水使用量の削減
- ・関係する環境関連法規等を遵守
- ・化学物質の適正な管理維持
- ・地域貢献活動を推進

制定日 2024年 6月 25日 株式会社 春日緑化 代表取締役 朝見 高樹

4.環境経営目標

当社の事業活動性を踏まえ、環境経営目標を以下のとおり設定しました。

	単位	基準年	中長期目標			試行期間目標	
環境経営目標		2023年度 実績値	2024年度	2025年度	2026年度	基準値 前年度実績	2024年度 試行運用期間
		2023年8月~ 2024年7月	2024年8月~ 2025年7月	2025年8月~ 2026年7月	2026年8月~ 2027年7月	2023年7月~ 2023年9月	2024年7月~ 2024年9月
二酸化炭素排出量の削減	lar CO	54,649	54,649	53,556	53,010	11,846	11,728
一般心灰糸が山里の削減	kg-CO ₂		-1%	-2%	-3%		-1%
声 上	1. 10/ 1-	C C2C	6,570	6,503	6,437	1,532	1,517
電力	k W h	6,636	-1%	-2%	-3%		-1%
#37 II 57	,	6.664	6,597	6,531	6,464	1,865	1,846
ガソリン	l	6,664	-1%	-2%	-3%		-1%
± ∀ 2.44	,	ℓ 13,901	13,762	13,623	13,484	2,621	2,595
軽油 	l e		-1%	-2%	-3%		-1%
I DC	1.4	18	18	18	17	0	0
LPG	kg		-1%	-2%	-3%		-1%
廃棄物再資源化率向上 (剪定木・草・産廃)	%	95	95	95	95	95	95
	m³	125	124	123	121	4.6	46
水資源の削減			-1%	-2%	-3%	46	-1%
施工する工事等の 環境に配慮する項 目	%	100	100	100	100	100	100
グリーン購入の推進 購入の推進		入の推進	継続	継続	継続	継続	継続
社会貢献への参加		継続	継続	継続	継続	継続	継続

[※]二酸化炭素排出量は、2022年エバーグリーンの調整排出係数(0.492kg-CO2/kwh)を用いた

5.環境経営計画

【具体的取組内容】

	取組目標		具体的実施項目	スケジュール
		1	適正温度の維持	冷房(26°C) 暖房(20°C)
		2	不当な照明の消灯	通年
1	電気使用量の削減	3	空調使用時のドアの開けっ放し禁止	通年
		4	エアコンフィルターの清掃	3ヶ月毎
		5	倉庫のLDE設置	更新時
		1	エコドライブの徹底(急加速・急停車)	通年
		2	ハイブリット車、低排出ガス車の導入	通年
2	ブソリン・軽油使用量の削減	3	タイヤの空気圧の適正値に保つ	通年
		4	移動時の乗り合わせ	通年
		5	定期的車両・重機の保守点検	通年
		1	剪定木の再資源化(燃料)	通年
3	廃棄物再資源化率向上	2	建設廃棄物の再資源化	通年
	(剪定木・草・産廃)	3	現場毎に管理を徹底	通年
4	水使用量の削減	1	垂れ流し使用厳禁	通年
5	環境対応型建設機械の使用	1	レンタル・リース機械は、環境対応型建設機械を使用	通年
6	グリーン購入の推進	1	備品等のグリーン購入(エコマーク商品)	通年
7	社会貢献への参加	1	地域周辺の清掃	月1回
	正立兵脈、ツ参加	2	NPO法人のボランティア	年3回

6.環境経営計画に基づき実施した取組内容

二酸化炭素排出量削減への取組





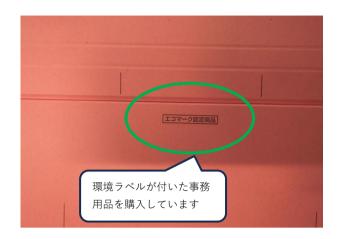




水使用量の削減への取組



グリーン購入の推進









廃棄物の分別リサイクルへの取組





地域清掃活動の取組



環境対策型建設重機の導入





7.環境経営目標の実績

試行運用3ヶ月間の環境への取組による環境目標達成状況は、以下のとおりです。

設定した5項目10目標のうち、4項目5目標で目標を達成できた。

細大の環境負荷である二酸化炭素排出量は、重機を使用する現場の為軽油使用量が基準年の約2倍に、

目標達成率57%で、目標を達成できませんでした。現場に左右されるが、確実に削減できる努力を していきたい。

その他の目標項目は、良好な取組結果となっている。

今後も環境意識を高め、従業員一丸となって取組を徹底させていきます。

注) 削減目標は、基準値比 -1% その他は、率、回数

環境経営目標		単位	基準値 (前年実績)	試行期間 2024年7月~9月		目標対比	評価
			2023年7月~9月	目標値	実績値	%	
_ #	酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	11,846	11,728	15,999	73	\triangle
	電力	k W h	1,532	1,517	1,771	86	\triangle
	ガソリン	l	1,865	1,846	1,421	130	0
	軽油	l	2,621	2,595	4,585	57	×
	LPG	kg	0	0	0.21	0	×
	棄物再資源化率向上 剪定木・草・産廃)	%	95	95	99.9	130	0
水	資源の削減	m³	46	46	92	50	×
施工する工事等の 環境に配慮する項目		%	100	100	100	100	0
社会貢献への参加		回	3	3	3	100	0

目標達成判定区分 \odot :目標達成率120%以上、O:100%以上120%未満、 \triangle :80%以上100%未満、 \times :80%未満、-:判定不可

8.環境経営計画の取組結果とその評価

評価日 令和6年10月1日

評価者 重野 修

	i			
	取組目標	取組計画	実施状況	評価
		エアコンの設定温度(冷房26~28°C)暖房(20~22°C)	0	ステッカーによる注意喚起を実 施。今後も取組を継続。
		不当な照明の消灯	0	ステッカーによる注意喚起を実 施。今後も取組を継続。
1	電気使用量の削減	空調使用時のドアの開けっ放し禁止	0	実施できた。今後も継続
		エアコンフィルターの清掃	0	実施できた。今後も継続
		倉庫のLDE設置	×	計画中
		エコドライブの徹底(急加速・急停車)	0	ステッカーによる注意喚起を実 施。今後も取組を継続。
2	ポンリン・軽油体田豊の削減	仕事内容に応じた車両の選定	0	実施できた。今後も継続
2 ガソリン・軽油使用量の削減	移動時の乗り合わせ	0	会社に集合し、相乗りし て移動。今後も継続	
		定期的車両・重機の保守点検	0	実施できた。今後も継続
	廃棄物再資源化率向上	剪定木・草の再資源化(燃料)	0	実施できた。今後も継続
3	虎未切行兵顺心十时 工	建設廃棄物の再資源化	0	実施できた。今後も継続
	(剪定木、草、産廃)	現場毎に、管理を徹底	0	実施できた。今後も継続
4	水使用量の削減	垂れ流し使用厳禁	0	実施できた。今後も継続
5	施工する工事等の環境に配慮する項目	レンタル・リース機械は環境対応型建設機を使用	0	対応機械の確保を実施。 今後も継続
6	グリーン購入の推進	備品等のグリーン購入(エコマーク商品)	\triangle	更に取組を徹底していく
7	社会貢献への参加	地域周辺の清掃	0	実施できた。今後も継続
		NPO法人アルゴのボランティア	0	実施できた。今後も継続

※実施状況の判定区分

O:実施されている \triangle :概ね実施されている \times :あまり実施されていない

9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において、法的義務を受ける主な環境関連法規は以下の通りです。 2024年度の事業活動における遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。 また、関係機関等から違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。 苦情は、ありませんでした。

評価日 令和6年10月1日

評価者 重野 修

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	遵守評価			
	産業廃棄物委託契約書				
廃棄物処理法	マニフェスト管理、産業廃棄物管理票交付等状況報告書	遵守			
	収集運搬車両の管理、ステッカー表示	遵守			
建設リサイクル法	分別解体等の計画の届出	遵守			
オフロード法	排出ガス基準に適合した状態での使用	遵守			
騒音規制法	特定建設作業実施届出書の届出	遵守			
振動規制法	特定建設作業実施届出書の届出	遵守			
家電リサイクル法	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	遵守			
自動車リサイクル法	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	遵守			
水質汚濁防止法	排水基準の遵守	遵守			
	設置施設の届出	遵守			
浄化槽法	法定検査 定期点検	遵守			
	定期清掃	遵守			
農薬取締法	使用禁止、使用制限義務の遵守	遵守			

10.代表者による全体評価と見直し・指示

検討しました。結果は以下の通りです。

なお、今回の3ヶ月にわたるエコアクション21の施行により、徐々に社員の環境意識が高まっている感じが伺えました。

①取組状況の全体評価

試行運転期間の取組状況は、河川の草刈の影響で現場での軽油使用量が大きく増加し、二酸化炭素 排出量の削減の目標は達成出来ませんでした。取組は一部を除いて適切に実施でき、環境経営シス テムも有効に機能していると評価しました。

②見直し結果

今回の運用成績を踏まえ、環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画・実施体制の基本計画部分 は今後も継続しますが、目標未達となった項目については目標の見直しや取組の強化を図るよう 指示しました。

工事受注により内訳や、場所によって大きく影響を受る。常に作業前の朝礼等で、全員参加の エコアクション21ミーティングなど、継続的に実施して必要なガイドラインに対応しながら見直す。

2024年10月24日

代表取締役 朝見 高樹